

都道府県データ

福岡県

- 社会貢献活動拠出額……………44,857,237円
- 社会貢献活動拠出件数……………221件

- 総人口……………5,049,126人
 - 男性……………2,396,769人
 - 女性……………2,652,357人
 - 人口密度(1Km²当たり)……………1,015人
 - 世帯数……………2,008,880世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

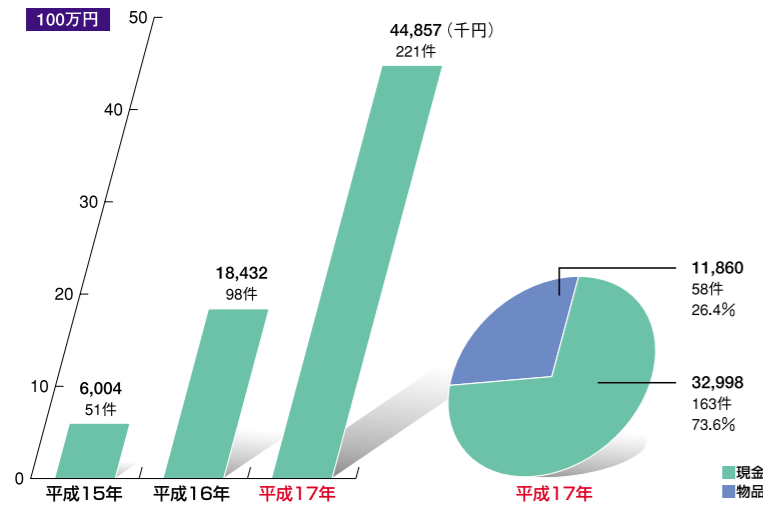


福岡県遊技業協同組合
理事長
金本正浩氏

今後も活動の在り方を探りたい。

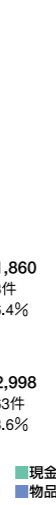
養護施設の子どもたちが育てた花の鉢を街でプレゼントする「花いっぱい運動」や毎年の寄付活動などに取り組んでいます。ホール経営者の多くは地元で生まれ育ち、「地域を大事にして、いい関係を築こう」と強い信念を持っており、県遊協でも「地域と共生」という意識が強く今後も何が出来るかと、活動の在り方を探っていきたいと考えています。

■ 年別 拠出額と拠出件数



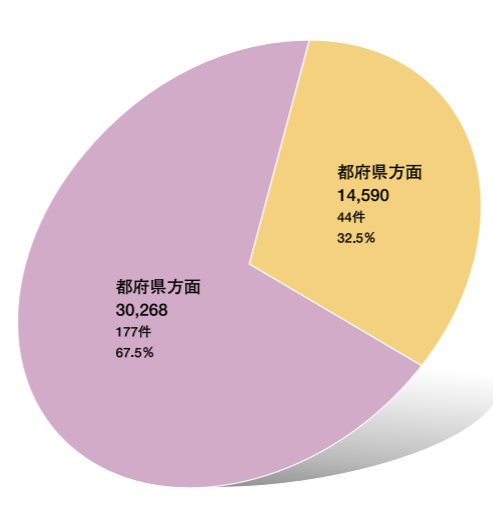
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)

(単位:千円)



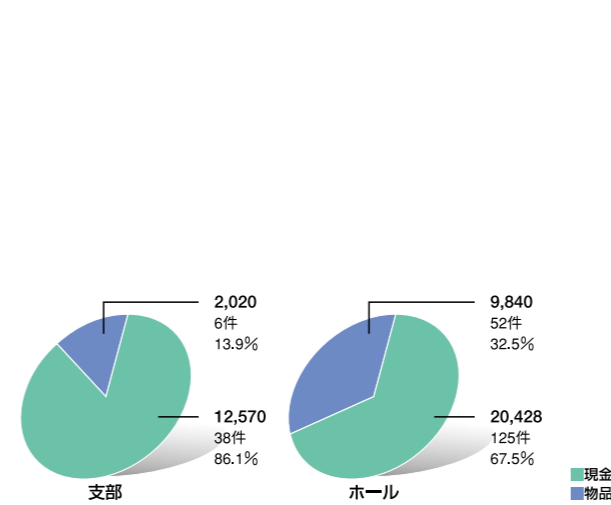
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)

(単位:千円)



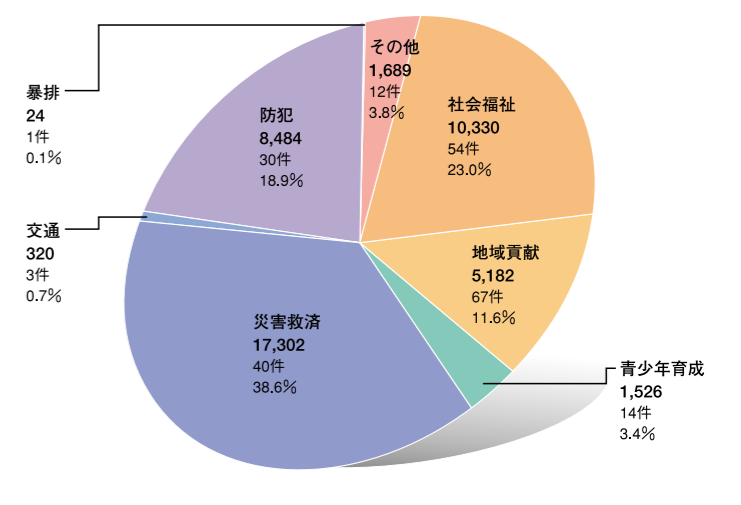
■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)

(単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)

(単位:千円)



● 地域と連帯して、安全パトロールを実施

福岡南遊技場防犯組合は、子どもを狙った犯罪を憂慮し、福岡南防犯協会へパトロール用の車を寄贈し、資金提供も行った。また、博多遊技場防犯組合では、博多防犯協会の協力を得て防犯ポスターを作成し、博多区内のホールに掲示した。

● 日本赤十字社の献血活動に協力

日本赤十字社の献血車を筑後地区のホールの駐車場に呼び、ホール従業員による献血活動。



寄贈したパトロール用車両

● JR駅前の清掃を週3回実施

福岡県二日市、太宰府市内のホールにおいては、JR駅前の清掃を週に3日間定期的に行っている。その他の地区(博多区、南区、筑豊地区の直方組合)でも周辺道路などの清掃作業や放置自転車の整理・誘導なども行っている。

● 光と愛の事業団にスマトラ沖地震義援金

● 日本赤十字社に福岡県西方沖地震義援金

● JR駅前広場に防犯対策として、TV看板ハイグレードver寄贈

● 子ども見守り隊へ黄色のベスト寄贈

● 15の児童養護施設へ、おもちゃ・お菓子のプレゼント

● 福岡県国際交流センターへ 福岡アジア留学生里親奨学金

● 青少年育成の一環として、野球教室を開催

筑紫野市のホールが、少年野球教室に特別協賛をしている。プロ野球マスターズリーグ「福岡ドンタク」の松永浩美内野手、加藤伸一投手をコーチに迎えて、約100人の野球少年を招待、指導を平成17年(2005年)7月から年に4回行っている。

● 安全な街づくりに協力

福岡市内の南地区のホールでは、交通安全パレードを行い、ティッシュペーパー等を配布するとともに放置自転車の整理を行った。

● 青少年健全育成のためパトロールを実施

青少年の健全化指導のため、行橋地区の繁華街を遊技場組合員および県警生活安全課担当官、所轄署と巡回活動。



招待された少年たちがマスターズリーグ選手により熱烈指導を受けた

● 九州盲導犬協会へ 歩こう盲導犬募金協賛

● 老人ホームへ 車椅子5台

● シルバー人材センターへ 高齢者雇用促進の一助として

● 福祉施設協同作業所へ 軽トラック購入資金の一部として

都道府県データ

長崎県

- 社会貢献活動拠出額……………14,524,025円
- 社会貢献活動拠出件数……………179件

- 総人口……………1,478,630人
 - 男性……………691,431人
 - 女性……………787,199人
 - 人口密度(1Km²当たり)……………361人
 - 世帯数……………553,272世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

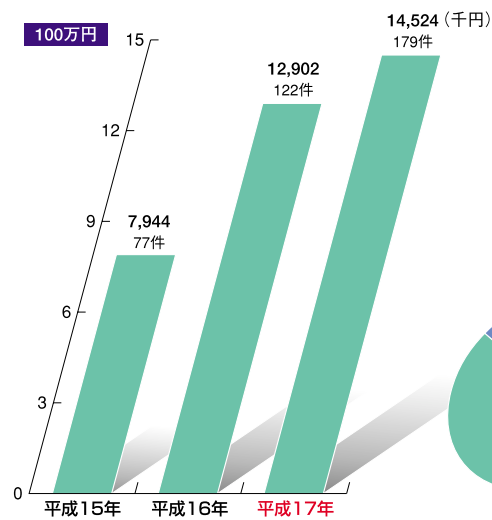


長崎県遊技業協同組合
理事長
中島義雄氏

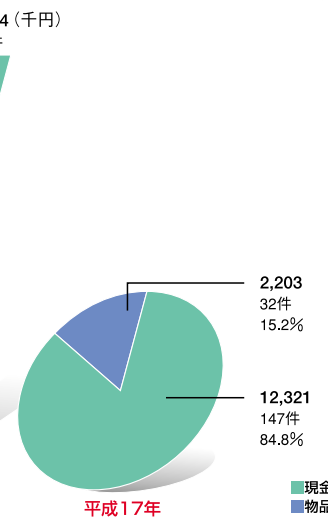
営業者の賞品買取関与の根絶を図る。

透明度の高い賞品買取りシステムを構築するため、長崎県遊技業協同組合が中心母体となり、平成13年(2001年)に「長崎ロマン遊技事業協会」を創立(平成16年(2004年)NPO法人に認定)、同協会による物品卸商社、物品買取商社に対する厳格な認定制度を実施し、ホール営業者の関与できない環境づくりをしています。

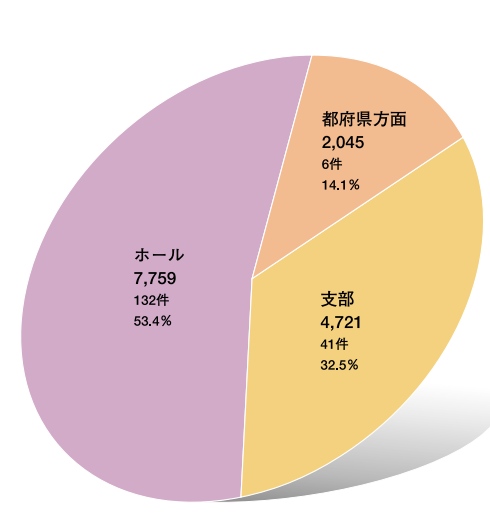
■ 年別 拠出額と拠出件数



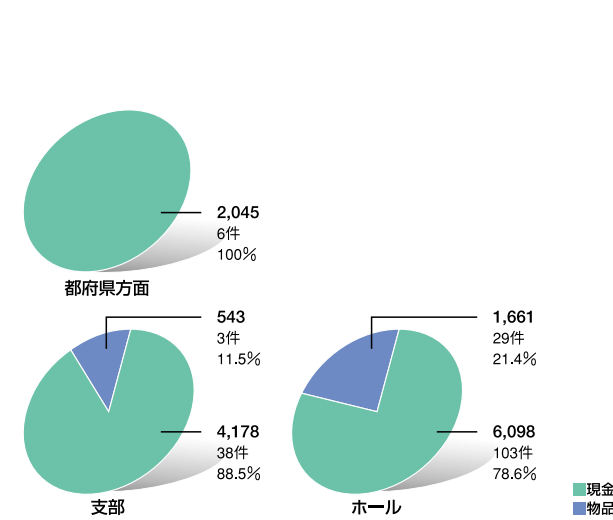
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



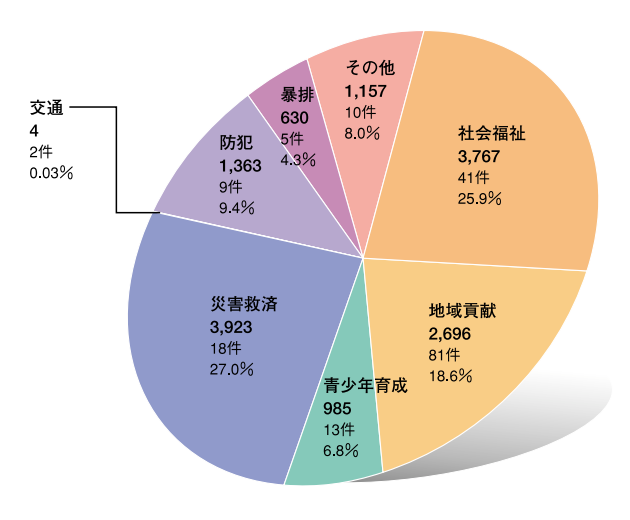
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



●社会活動協力支援金並びに寄付金交付式を開催

長崎県遊技業協同組合等が出資し創立した「NPO法人長崎ロマン遊技事業協会」では、平成18年(2006年)2月24日、諫早市内のホテルで第5回目の社会活動協力支援金並びに寄付金を12団体、2施設に625万円を交付した。



社会活動協力支援金交付式での野田理事長あいさつ

●公園施設充実のためベンチを寄贈

佐世保支部遊技場組合では、毎年12万人の来場があり、家族連れで楽しめるアミューズメントがいっぱいの「えびスポーツの里」へ、平成16年(2004年)から毎年ベンチ4基(30万円相当)を寄贈している。



寄贈したベンチ

寄贈したベンチ

●新潟県中越地震の復興支援として義援金を寄付

●長崎県暴力団追放県民会議とNPO長崎被害者支援センターに寄付

●長崎新聞に子どもの車内放置事故防止キャンペーン広告を掲載

●子ども車内放置事故防止のため、駐車場巡回用の特別腕章を作成

●県遊協では、少年野球教室に特別賛助金を贈呈

●知的障害者通所授産施設に年賀シール貼り作業を依頼

平成15年(2003年)より、ヤクルト本社九州支店と連携し障害者の方々に働く場を提供することを狙いとして、飲料への「年賀シール」貼り作業を知的障害者通所授産施設「つくし学園」に依頼している。

●道路清掃等のボランティア活動を実施

長崎市遊技場組合傘下ホールでは、毎月3回(5の日)、午後4時45分から5時30分の間ホール周辺道路約600メートルにわたり、歩道、バス停、側溝等の清掃活動に従事している。

●県遊協では、インドアスポーツ西日本大会に協賛金を寄贈

●五島市遊技場組合では、毎年開催されるアイアンマン大会に協賛金を贈呈

●大村市遊技場組合では、大村市補導員連絡協議会に防犯用具を寄贈

●島原・南高遊技場組合では、雲仙復興祈念島原ガマダス花火大会に寄付

都道府県データ

熊本県

- 社会貢献活動拠出額……………30,950,932円
- 社会貢献活動拠出件数……………130件

- 総人口……………1,842,140人
男性……………866,782人
女性……………975,358人
 - 人口密度(1Km²あたり)……………249人
 - 世帯数……………666,772世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

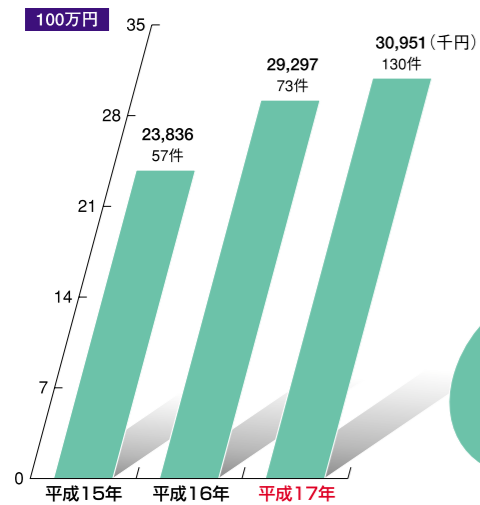


熊本県遊技業協同組合理事長
岩下博明氏

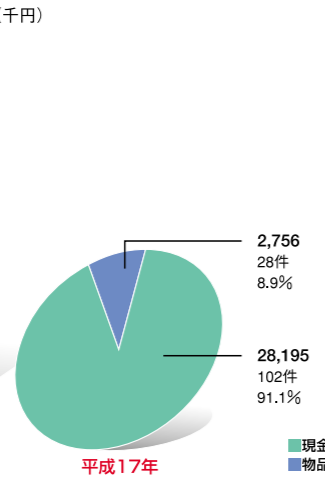
地域社会との共存共栄と繁栄・発展を。

わが業界は地域社会とともにあり、ともに繁栄・発展することを願っております。これまでも幅広い方面への社会貢献活動を行っておりますが、本年も事業計画の重点事項として「社会貢献活動を推進しよう」を掲げ、社会的責任を果たす諸活動を推進するとともに、組合員の多くが参加する社会貢献活動を展開していきたいと思っております。

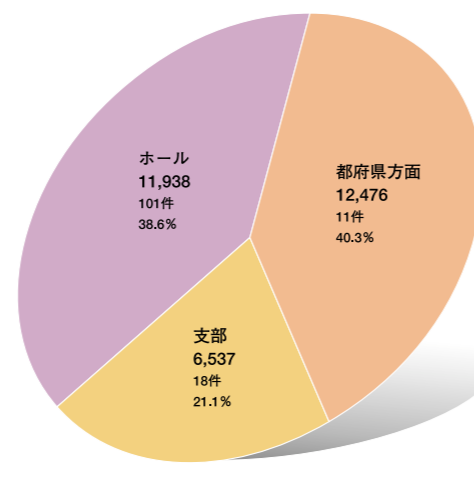
■ 年別 拠出額と拠出件数



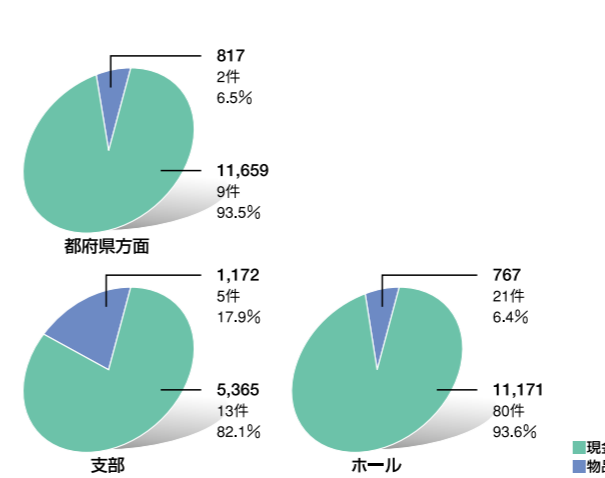
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



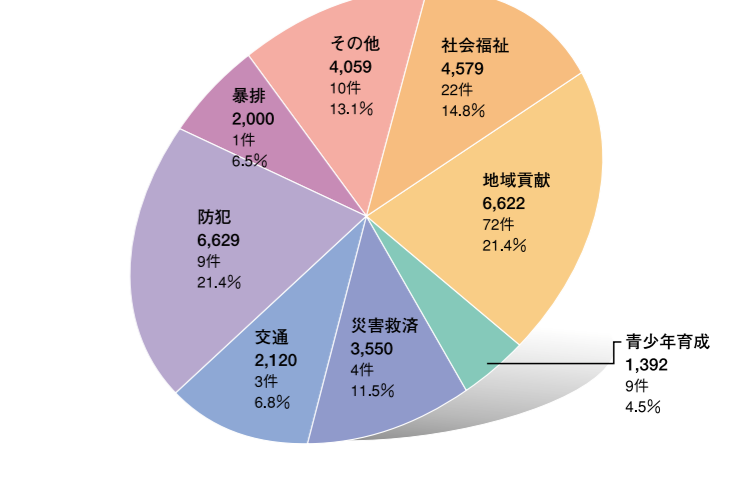
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



● 防犯パトロール用ユニフォームを寄贈

熊本県遊技業防犯協会では、全国で推進中の「カギかけ日本一運動」において、一生懸命防犯活動に取り組んでいるボランティアの方々に、パトロール用統一ユニフォームを240着寄贈。



ユニフォーム贈呈式

● 「防犯パトロール隊」に青色回転灯を寄贈

熊本南地区では、「安全・安心街づくり」の決起大会において、校区防犯協会の「防犯パトロール隊」に対して、巡回用車両につける青色回転灯5基を寄贈した。決起大会後、取り付けた車両とともに町内を行進した。



防犯パトロールに青色回転灯贈呈式

● 障害者に働く場を提供

県遊技業協同組合は熊本ヤクルトの協賛により、組合の青年部が中心となり県内の知的障害者授産施設へ年賀シール貼り作業を依頼した。約72,500本を3回に分け発注、初日は県遊協青年部5名がシール貼り作業に参加。



授産施設へシール貼りの委託

- 老人ホームへ温泉入浴券プレゼント (ESK)
- 新潟県中越地震の復興支援として義援金を寄付
- 熊本県体育協会に寄付
- 山鹿灯籠祭り共催 (服部商事)
- 菊水町および長洲町の夏祭り協賛 (司観光)

● 県内12児童養護施設ならびに3乳児院に寄付

熊本県遊技業協同組合では、置かれている環境の中で将来ある子どもたちに少しでもお役に立つことができればと、平成15年(2003年)より、県内15施設へ寄付を行った。

● 日本赤十字社熊本支部に寄付

台風14号と豪雨の被災者の方々への基金として、岩下兄弟(株)は日赤熊本支部へ寄付を行った。また、活動資金として毎年寄付をしている。

● スペシャルオリンピックスでボウリングのコーチ

スペシャルオリンピックス熊本において、(株)大劇の従業員15名がボウリングのコーチ(ボランティア)として参加(9回実施)。また、15年前よりチャリティゴルフコンペを開催し、集まった浄財を活動資金として寄付した。

- 地域安全活動の防犯ステッカー作成支援 (玉名支部)
- 市内の4養護施設へ飲料水を寄贈 (荒尾支部)
- 敬老の日に紅白饅頭をプレゼント (ブルック)
- 夏祭りのために駐車場を開放 (ユートピア)
- 敬老の日にはちんこ大会の場所提供 (PA-OH)

都道府県データ

大分県

- 社会貢献活動拠出額……………44,718,307円
- 社会貢献活動拠出件数……………192件

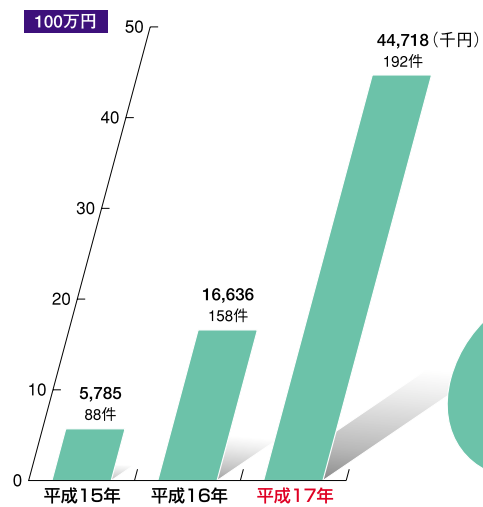
- 総人口……………1,209,587人
男性……………569,755人
女性……………639,832人
 - 人口密度(1Km²あたり)……………191人
 - 世帯数……………469,017世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)



大分県遊技業協同組合
理事長
金在哲氏

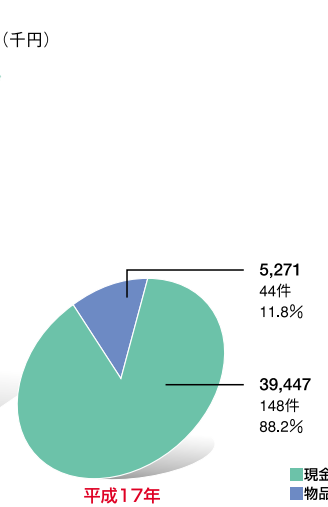
業界の発展は、癒しの空間であるホール作りと地域との共生活動。
大分県は、自然環境に恵まれた人口121万人の県です。店舗数は、155店舗ですが、大分県を持つ娯楽・観光施設と勝負するためには、ホールが癒しの空間であること、そして、地域の人たちとの共生が不可欠であると考えています。これからも、一過性でない社会貢献活動に努力していきます。

■ 年別 拠出額と拠出件数



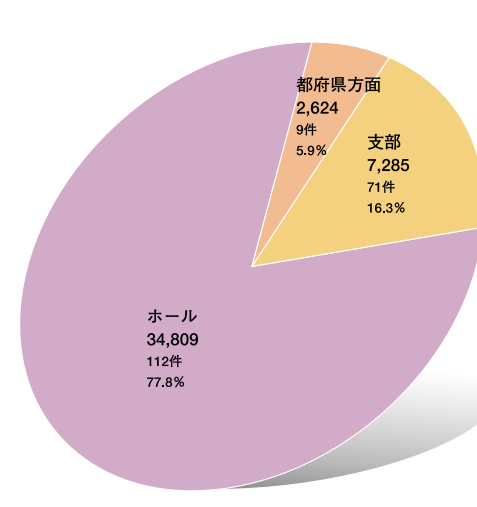
■ 平成17年 現金・物品の割合

(単位:千円)



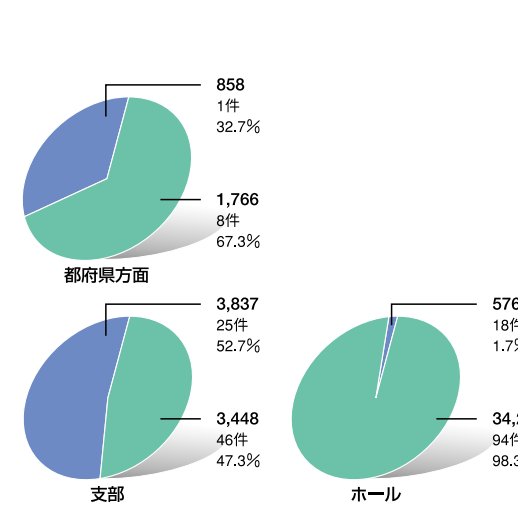
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)

(単位:千円)



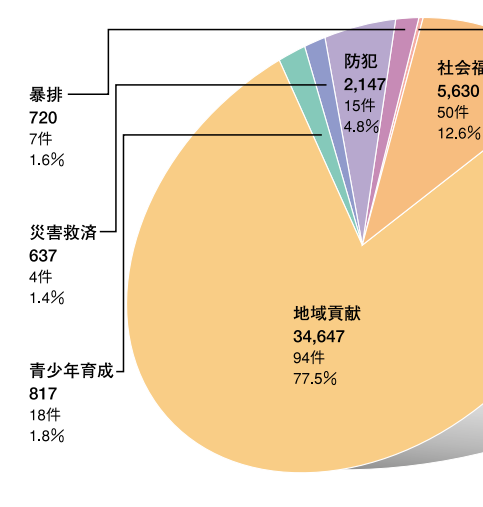
■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)

(単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)

(単位:千円)



● 児童養護施設と道路との境界に設置するフェンスとシューズを寄贈

青年部会で開催したチャリティーゴルフコンペによって集まった浄財をもとに、児童養護施設「栄光園」に道路との境界に設置するステンレス製フェンスと児童生徒の希望するシューズを寄贈した。

● 大分FCの「マルハンシート」を障害者等に提供

(株)マルハンは、大分市での大分トリニータのホームゲーム(年間20試合)の1,266席をマルハンシートとして購入した。このうちの800席を「社会貢献シート」と名付け、障害者や65歳以上の高齢者に提供した。

● 別府アルゲリッチ音楽祭に協賛

別府市は、世界的なピアニスト マルタ・アルゲリッチ女史を総監督に迎え、平成11年(1999年)から「別府アルゲリッチ音楽祭」を開催しているが、大分県遊協は第1回から毎年これに協賛している。

● 新潟県中越地震の復興支援として義援金を寄付

- 知的障害者授産施設に年賀シール貼り作業を委託
- 大分県遊協は「子供の車内置き去り事故防止」のための活動を展開
- 大分県遊協は、大分合同福祉事業団の歳末助け合い運動へ寄付
- 大分県遊協は、被害者支援センター、暴力追放県民会議へ寄付
- 大分東遊技場組合は、少年補導連絡協議会へ寄付

● 大分国際車いすマラソン大会に協賛

大分県は、昭和56年(1981年)の国際障害者年を記念して、本大会をスタートしたが大分県遊協は、毎年この大会に協賛している。昨年の第26回大会は、海外は19カ国、国内は37都道府県から349名が参加した。

● 大分の海の玄関、別府湾の環境問題に取り組む

別府湾は、大分県の海の玄関として、古くから開かれているが、大分県遊協は、きれいな海域の保全に努めている「別府湾をきれいにする会」の活動趣旨に賛同し、協賛した。

● シルバーキャンペーンを開催し、高齢者にヤクルトを無料提供

大分県遊協では、シルバーキャンペーンの行事として、各ホールに台当たり2本のヤクルトを配布し、期間中、高齢者を中心に無料で提供している。今年で6年目。

● 中津遊技場組合は、精神障害者支援施設へ寄付

- 宇佐遊技場組合は、市防犯組合にワイヤレスマイク一式を寄贈
- 高城「ビッグチェーン」は、難病の村上大貴君の支援に寄付
- 大分東「ウイング」は、鶴崎校区公民館建設委員会へ寄付
- 別府「ラスベガス」は、中越地震の際、日本赤十字新潟へ寄付
- 日田「ベイビーラック」は、観光祭花火大会に寄付

都道府県データ

宮崎県

- 社会貢献活動拠出額……………17,505,219円
- 社会貢献活動拠出件数……………221件

- 総人口……………1,152,993人
 - 男性……………541,988人
 - 女性……………611,005人
 - 人口密度(1Km²あたり)……………149人
 - 世帯数……………450,909世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

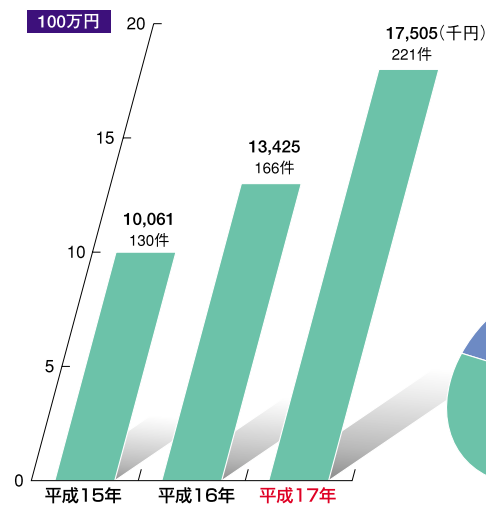


宮崎県遊技業協同組合
理事長
前園善彦氏

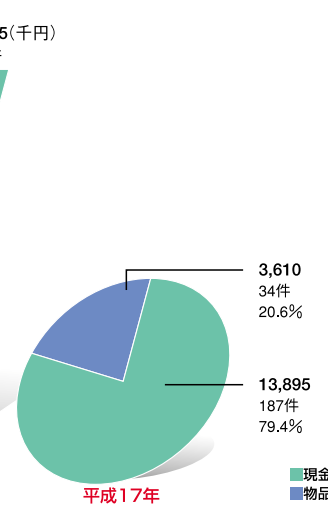
地域に根ざし、愛される業界づくりのために。

私たち業界を支えていただいているのは、多くの地域の方々です。私たちは常に感謝の気持ちを持ってその方々に愛され楽しんでいただくためのホールづくりに努めています。社会貢献活動は、地域の中に地歩を固めるための一つの手段と受け止めて、精一杯頑張っていこうと思っています。

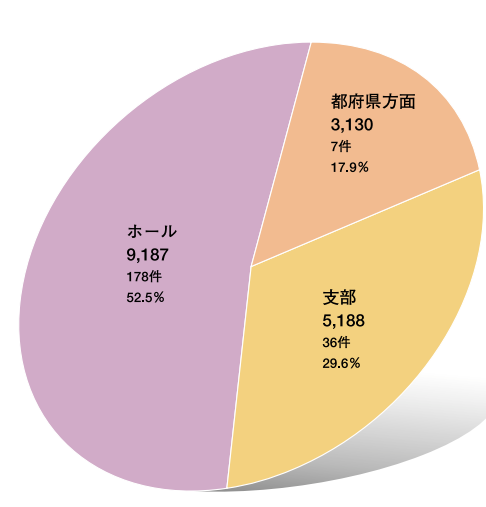
■ 年別 拠出額と拠出件数



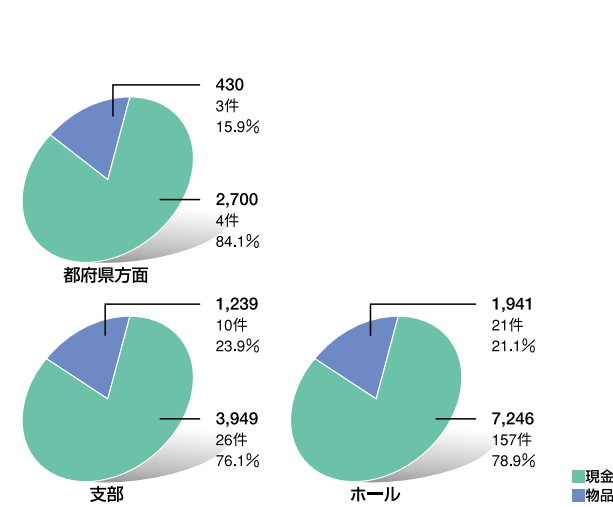
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



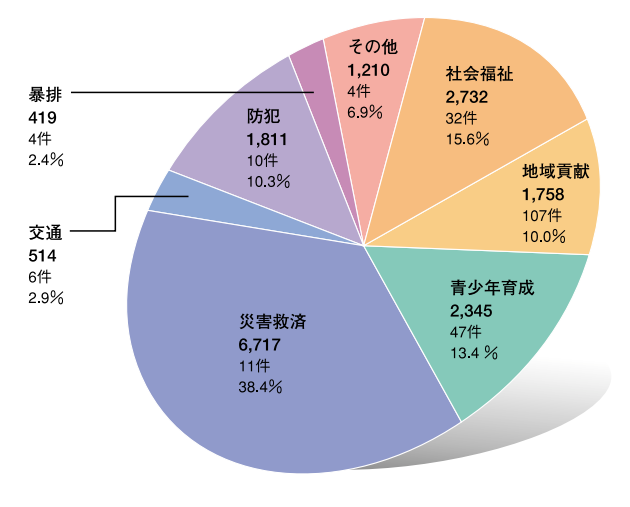
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



●「オレオレ詐欺」(振り込め詐欺)被害防止シールを作成配布

全国的に多発している「振り込め詐欺」被害を防止するため、県警察本部と協議し名刺大のシールを作成、県内全域の各種団体やホール来客者に配布して、被害防止を呼びかけた。



作成したシール

●「こども110番 おたすけカー」のステッカー作成配布

延岡支部では、子ども被害の犯罪防止のため、地区内少年補導員の活動用車両に貼付するマグネット式ステッカーを作成し少年補導員連協に寄贈した。「走るおたすけカー」として評価された。



寄贈したステッカーの形状

●高齢者福祉施設入居者に対するクリスマスプレゼント

宮崎支部では、支部内の全高齢者福祉施設に対し、1人2本の野菜ジュースをクリスマスプレゼントしている。これに対し各施設から礼状が届くとともに、毎年継続実施の要望があった。



寄贈の状況と感謝状



感謝の礼状

●新潟県中越地震の復興支援として義援金を寄付

●「振り込め詐欺」被害防止シールを作成配布

●「黄色いリボンの会」にたすき100本寄贈

●子供事故防止ポスターを作成

●台風14号被災地域のボランティア活動支援のため寄付

●台風被災者およびボランティア活動者支援のための義援金寄付

9月の台風14号は、県内全域に大きな被災をもたらした。県遊協、県青年部会、宮崎支部ほか各支部はNHKや各自自治体を通じ、被災者と多くのボランティア活動者支援の現金等を寄付。



義援金寄贈の状況



宮崎市長より授与された感謝状

●児童福祉施設入所児童に対するプレゼント

平成17年(2005年)3月と11月に開催したチャリティーゴルフ大会参加者の浄財等をもとに、児童福祉施設を訪れて教育資材やおもちゃをクリスマスプレゼント、今後、他の施設に順次実施の予定。



プレゼントを渡している状況



プレゼントの礼状

●県下3カ所のホールの駐車場等で献血活動を実施

青年部会では例年、日赤血液センターへの献血活動を実施している、平成17年(2005年)2月に県内3カ所のホール駐車場等を利用して実施。



献血会場



献血状況

都道府県データ

佐賀県

- 社会貢献活動拠出額……………1,158,600円
- 社会貢献活動拠出件数……………45件

- 総人口……………866,402人
- 男性……………408,220人
- 女性……………458,182人
- 人口密度(1Km²当たり)……………355人
- 世帯数……………287,166世帯

※総務省国勢調査資料より(17年10月)

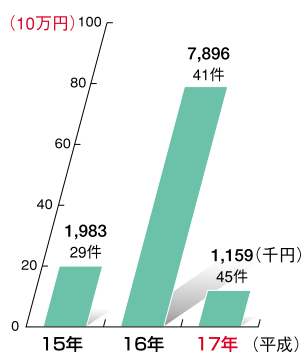


佐賀県遊技業協同組合理事長
森孝輝氏

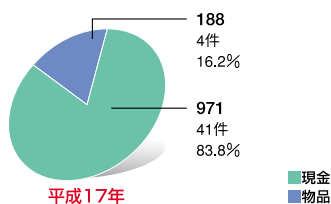
人々の「琴線に触れる社会貢献活動」を展開します。

平成18年(2006年)度の佐賀県遊技業協同組合総会で理事長に選任されました。山積する課題に対し全組合員の先頭に立って頑張りたいと思います。平成18年(2006年)2月7日に特定非営利活動法人「佐賀夢の里福祉事業協会」を立ち上げましたので、地域に根ざした、また人々の琴線に触れるような社会貢献活動を展開してまいります。

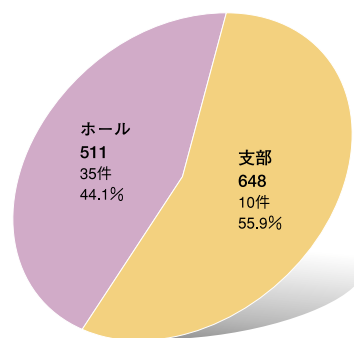
■ 年別 拠出額と拠出件数



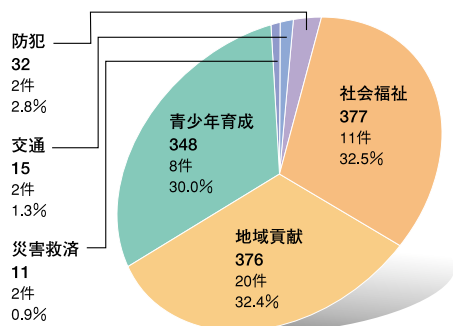
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



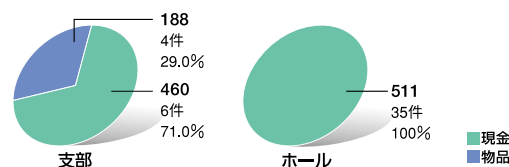
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



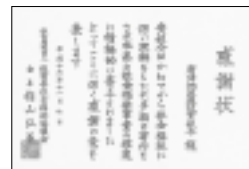
■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



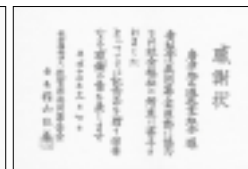
■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



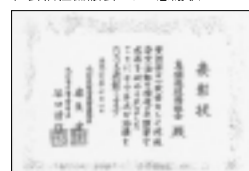
- 各種事件事故対策に見回り用ウインドブレーカーと帽子を製作配布
- 新潟県中越地震の復興支援として義援金を寄付
- (財)佐賀県暴力追放運動推進センターに寄付
- 唐津地区遊技業組合が佐賀県社会福祉協議会および佐賀県共同募金会から感謝状を授与される
- 鳥栖遊技場組合が九州防犯協会連絡協議会から表彰される



社会福祉協議会からの感謝状



共同募金会からの感謝状



九州防犯協会連絡協議会からの表彰状

鹿児島県

●社会貢献活動拠出額……………13,705,000円
●社会貢献活動拠出件数……………87件

●総人口……………1,753,144人
 男性……………819,405人
 女性……………933,739人
●人口密度(1Km²当たり)……………191人
●世帯数……………724,823世帯
※総務省国勢調査資料より(17年10月)

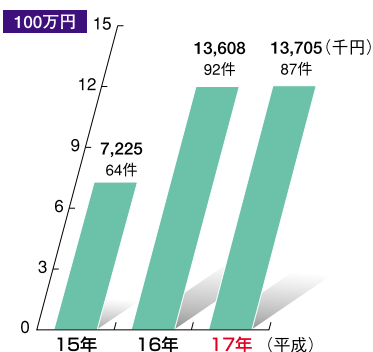


鹿児島遊技業協同組合理事長
西川明寛氏

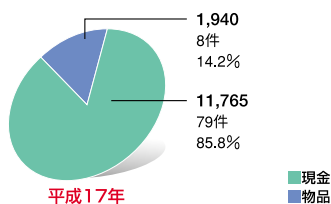
業界の社会的責任は、手軽に遊べる憩いの場を提供することと、可能な限り社会還元を図ることだと思います。

わが県の業界では、従来から各種団体、福祉施設等に対する支援活動を行ってきました。特に心を配ってきたことは、乳児院等の児童福祉施設、身体障害者施設等、恵まれない環境の中で、希望をもって頑張っている人々を支援することであります。

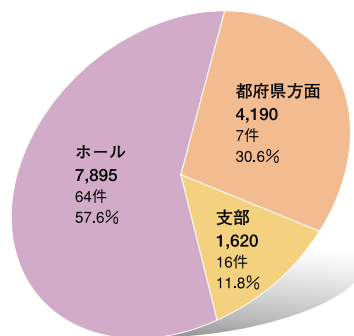
■ 年別 拠出額と拠出件数



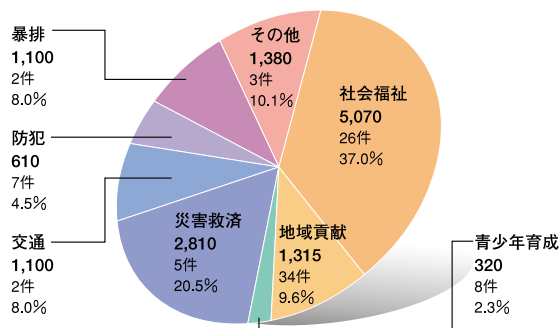
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



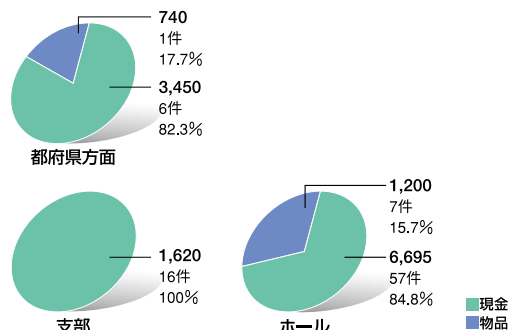
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



●**児童福祉施設の子どもたちへクリスマスプレゼント**

青年部は、平成17年(2005年)12月に県内4カ所の児童福祉施設を訪問し、子どもたちに洋服やおもちゃ、菓子などをクリスマスプレゼントとして寄贈し、訪問した青年部会員たちが子どもたちと交流した。



青年部会員が、子どもたちにプレゼントと一緒に遊んだ

- 新潟県中越地震の復興支援として義援金を寄付
- 「かごしま犯罪被害者センター」に寄付
- 子どもの事故、車上狙い防止のための防犯研修会とパトロールを実施
- 鹿児島市内6児童養護施設に電化製品などを寄贈



防犯パトロール研修会

子供の事故防止一斉パトロール

都道府県データ

沖縄県

- 社会貢献活動拠出額……………24,010,445円
- 社会貢献活動拠出件数……………275件

- 総人口……………1,360,830人
 - 男性……………667,789人
 - 女性……………693,041人
 - 人口密度(1Km²あたり)……………598人
 - 世帯数……………487,782世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

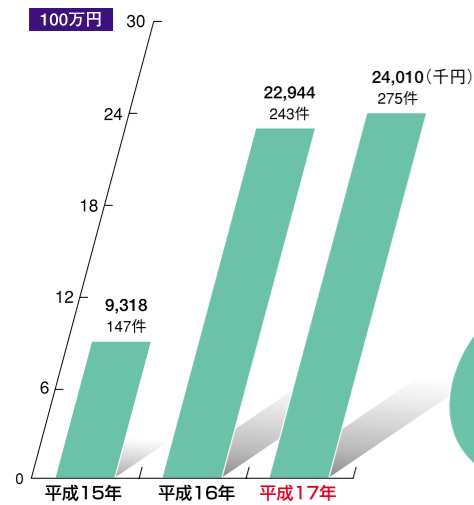


沖縄県遊技業協同組合
理事長
儀武息一氏

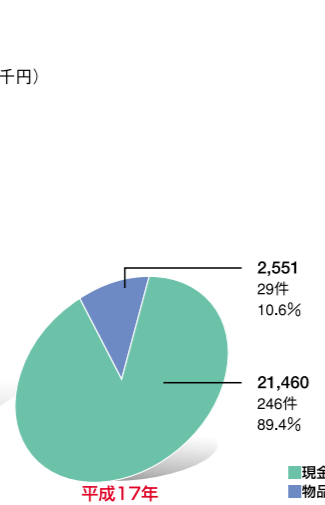
より良い明日を築くため、収益の一部を社会貢献に役立てる。

沖縄県遊技業協同組合は、地域とともにある業界を目指し、犯罪のない安心で快適な地域社会の構築に向け、「事件事故防止活動団体への助成」「社会福祉施設等への寄付」「パチンコ依存対策への支援」など、積極的に社会貢献活動に取り組んでいきます。

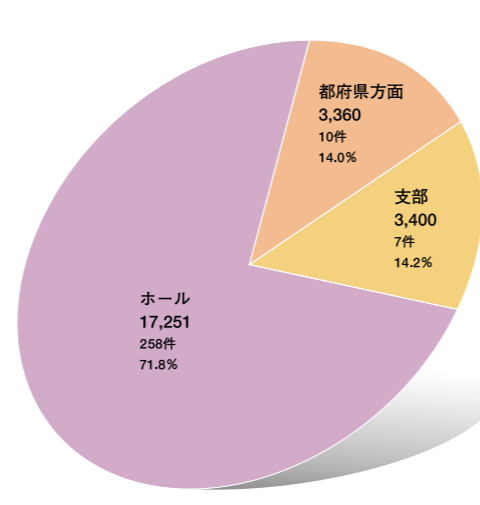
■ 年別 拠出額と拠出件数



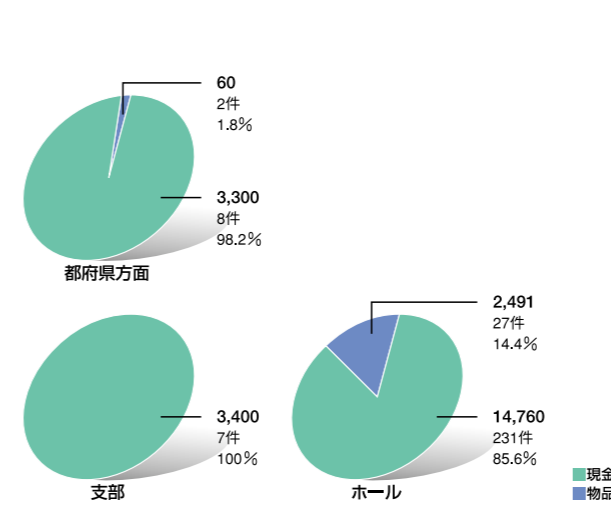
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



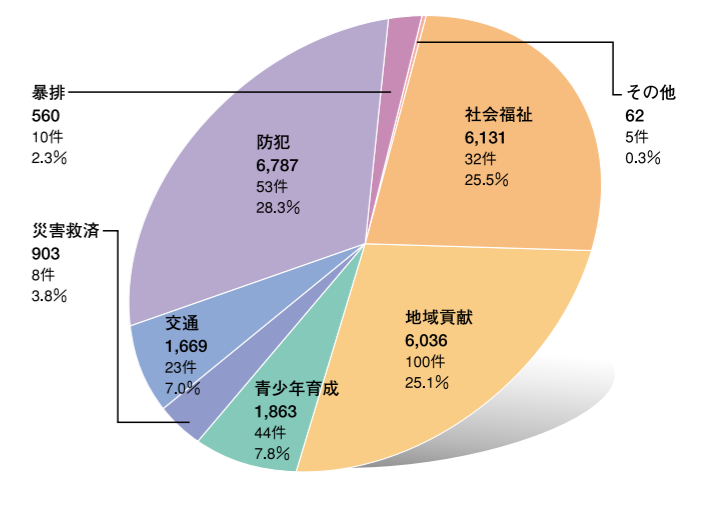
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



● 知的障害者の社会活動取り組みへの支援

障害者の社会活動への参加を支援する目的で、知的障害者授産施設との共催により、42名の知的障害者に、パチンコホールにおいて、来客に提供する賞品への「年賀シール」貼付を行った。



施設への贈呈 施設での軽作業

● 嘉手納・読谷シンデレラ会活動への支援

当県の「夜型社会」から派生する事件事故の防止を目指す“早い時間帯の帰宅奨励「シンデレラ会」”の、より活発な活動を支援するため、20万円の助成を行った。



シンデレラ会メンバー記念撮影 シンデレラ会の活動

● 県交通安全協会の「交通事故防止活動」への反射材寄贈

県の交通死亡事故の約6割が、深夜の時間帯に発生していることから、特に老人の交通事故防止の一環として、県交通安全協会連合会に「歩行者用反射材、5万5千枚を寄贈した。



安全協会へ反射材を寄贈 事故防止の呼びかけ

- 防犯協会・警察主催の各種「防犯活動」等への積極参加
- 県防犯協会連合会並びに各地区の防犯協会への活動資金として寄付
- 暴力団追放沖縄県民会議への恒常的な助成
- 県マリッジセーフティービューローへの救難品等購入資金の援助
- 県警の「110番の日、記念事業」への寄付および行事への参加
- 浦添市「地域安全フェア」への寄付および行事への参加

● 地元ラジオ局主催の盲導犬募金チャリティへの支援

RBC製作報道部企画による「盲導犬募金チャリティ」広報活動への支援として、30万円を寄付した。



RBC琉球放送のキャンペーン 目の不自由な方のパートナーです

● 「赤い羽根募金チャリティゴルフ大会」への賞品提供

社会福祉法人から“今日の不況下で募金活動が思うように進まない。チャリティゴルフの開催なので、なんとか協力してもらえないか”と要請があり、目玉商品(一等賞)ほか数点の賞品を寄贈した。



支援に対し感謝状をいただく チャリティゴルフ大会への賞品

● 低学年児童の登下校時の安全対策「反射材」の配布

民間の婦人団体から「低学年児童の登下校時の安全対策」を行いたいの、協力をお願いしたいとの要請に基づき、10万円の寄付とともに、歩行者用の「反射材」約1千枚を寄贈した。



事故に気を付けてねと反射材を配布 反射材の贈呈式

- 日本善行会沖縄支部への恒常的な助成
- 那覇市並びに浦添市育英会への恒常的な寄付
- 各地区少年補導員協議会への助成
- 浦添市社会福祉協議会への寄付
- 浦添市の安全な街づくり・地域活性化「てだこ祭り」行事への寄付
- 少年硬式野球優勝チームの「全国大会」への派遣費用への助成